

# ODA

# しゃりん 104号

## 沖縄脊髄損傷者連合会

発行：沖縄県身体障害者福祉協会  
 編集：沖縄脊髄損傷者連合会 TEL/FAX 098-886-4211  
 〒903-0804 沖縄県那覇市首里石嶺町4-373-1 西棟2階 ボランティア小規模団体室  
 E-Mail sekiren@proof.ocn.ne.jp  
 HomePage <http://www.normanet.ne.jp/~ww500008/>

### NPO法人となり名称が

### 「特定非営利法人 沖縄県脊髄損傷者協会」になりました。

平成25年2月28日、沖縄脊髄損傷者連合会は、「特定非営利活動法人 沖縄県脊髄損傷者協会」として登記申請書を那覇地方補務局に提出し、受付されました。

3月1日の電話で理事長の就任承諾書の添付が必要との連絡があり、3月4日(月)に登記事項のテキストファイルを保存したCDと一緒に届け、3月8日(金)に法務局に電話を入れて確認した結果、登記が完了しているとの返事を頂き、3月11日(月)に印鑑登録カードの交付を受けた後に「現在事項全部証明書」と「印鑑証明書」を発行してもらい受け取ってきました。

残っている手続きは「登記完了届出書」に「登記事項証明書」、「定款」、「設立当初の財産目録」、「登記事項証明書の写し」、「連絡先に関するお願い」の書類を

沖縄県環境生活部県民生活課」に提出することです。

昨年の5月27日に設立総会を開催して「沖縄脊髄損傷者連合会」を「特定非営利活動法人沖縄県脊髄損傷者協会」へ改名して法人設立申請手続きに入ったのですが、沖縄県環境生活部 県民生活課の民間非営利活動支援相談員に色々教えてもらい、勉強しながらの申請手続きだったので法人設立までに1年近くもかかってしまいましたが、年度区切りの良い4月から法人としての活動をスタート出来ることに安堵すると同時に多くの不安も感じています。

思い起こせば、昭和59年に障がい当事者団体として「沖縄脊髄損傷者連合会」を設立し、28年間相談活動を軸に支えあい活動、交流、施策への意見提言等や県内障

## ちはる歯科クリニック

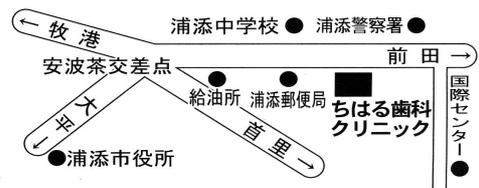
### CHIHARU DENTAL CLINIC

浦添市仲間3-3-9

☎(098) **877-6480**

FAX (098) **877-9251**

E-mail [chiharu@ryukyu.ne.jp](mailto:chiharu@ryukyu.ne.jp)



#### 訪問歯科診療と口腔ケアを行なっています!

対象者：在宅療養をしている個人で、通院が不可能な方。  
 病院、保健施設等に入所(院)されている方、障害者施設に入所の方。

がい当事者団体の牽引的役割も担ってきました。

今後は、「特定非営利活動法人沖縄県脊髄損傷者協会」として交流・要望から、担い手として社会事業責任を推進する機関として取り組むための役割拡充を図ることとしました。会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 2013年新年親睦交流会開催

去った1月26日、去年に引き続き浦添市にあるカラオケワールドももたろうにて今年の新年会が開催されました。

新年会ではおなじみの沖縄フェニックス、SEASIRS、沖脊連の役員以外に普段なかなか顔を合わせる事のない方々も多数見受けられる中、中盤では恒例のビンゴゲームやカラオケなどで盛り上がり、終始賑やかな様子でした。

また、今回は沖国大ボランティア部の現役女子大生3名の方にも手伝ってもらい、高齢化が進む脊連の新年会に花を添えてくれました。カラオケワールドももたろうはバリアフリーで身障用トイレを完備、駐車場も広く取られていて利用しやすくなっております。新年会は歳末たすけあい募金の利用で参加費は1,000円と、非常に安くなっています。次回はさらに多くの会員が集まっていただけたらと思います。

※この事業は「歳末たすけあい募金」の分配金で開催されました。(砂川)



## 障がい者施策検討会の報告

昨年12月17日(月)の「障がい者団体連絡会」にて開催を決定した「第4次沖縄県障害者基本計画」への当事者団体として効率的な意見提言をおこなうための勉強会「障害者施策検討会」を平成25年1月14日、1月28日、2月11日の午後6時30分～9時で3回開催致しました。

この検討会は仲根会長が県の障害者基本計画素案策定委員に任命されていることから、各障がい者団体が抱える問題をできるだけ多く障害者基本計画に反映させたいとの思いから多くの障害者団体に呼び掛けて実現したものです。

第1回目は、参加者の自己紹介をした後、第4次計画への意見提言の参考にしてもらうために第3次沖縄県障害者基本計画～美らしま障害者プラン～の概要説明、平成25年から施行される「障がい者総合支援法」の概要説明をしました。

第2回目と第3回目は、第4次沖縄県障害者基本計画素案(たたき台)資料を配り、内容を確認しながら活発な意見交換をしました。

今回は3回と限られた中での意見交換となったのですが、今後もお互いに学びあえる場を設けることを約束して閉会としました。(枝川)



## ハンドバイク体験教室

3月10日(日)豊崎海浜公園内(豊崎美らSUNビーチ)に於いて、ハンドバイク体験教室・ハンドバイクチャレンジレースを開催いたしました。

今回は特別講師として、2011”UCIパラサイクリングロードレース・世界大会選手権にアジア勢で唯一出場し、4位の実績者の、「奥村直彦」氏と日本でのハンドバイクの販売や普及活動に御尽力なされております、「木戸司」氏を迎えて実際の競技指導(移乗・試走)と仕組構造(説明・取付)等の専門的な視野からの的確なアドバイスを受けることができました。

当日は天候にも恵まれ、真夏を思わせるような暑さの中、昼食のBBQも満喫できました。参加者も障害の有無に関係なく一般からジュニアと幅広いレース体験が繰り広げられ、闘志満々でタイムに挑み満足感と悔しさの中、事故もなく無事終了することができました。※海外では盛んに行われている競技であります、日本での普及拡大ができたらと・・・!

(沖縄県障がい者スポーツ教会 前川)



## 介助犬講演会

去る3月25日(土)、沖縄県立博物館・美術館において「生きた補装具、介助犬」(～自立と社会参加、就労までの支援～)と題して介助犬講演会が行われました。

この講演会は、第12回沖縄県リハビリテーション医学会・協会が主催し、日本介助犬協会事務局長、医学博士の高柳友子先生による講演と実際に介助犬と暮らしている兵庫県在住の脊髄損傷者、奥村隼也さん&介助犬サリーによる介助の実演も行われました。

奥村さん曰く、以前は一人でいると様々な悩みに押しつぶされそうになることが多々あったのですがサリーがいてくれるだけで気持ちが柔らかくなり前向きな考え方ができるようになりました。鍵やペンなどを落としてしまったとき、一声かけるだけで手元に持ってきてくれたりと自分一人では苦勞する場面で介助してくれるので非常に助かります。

自分の人生に対する考え方も大きく変化し、極力手を加えないままの特徴無い人生でいたいと思っていたのが、人生を鮮やかに染めてやろうと思えるまで社会参加を望むようになりました。と語っています。

このように脊髄損傷などで手足に障がいのある方を手助けするために特別な訓練を受けた介助犬たちが全国で62頭活躍しています。実際日本では約15,000人が介助犬を必要としていると言われており、その数字からするとまだまだ啓発が必要ですね。

いつの日か沖縄にも介助犬と暮らす仲間が増えれば幸いです。(大城)

(写真次ページ)



～結婚しました～

沖縄フェニックスの玉城敦司です。4年間付き合った彼女と2月に入籍しました。自分の家族もできたので今まで以上にがんばります。みなさんよろしくお願ひします。

発行人 沖縄県南風原町字神里六三一  
 沖縄県身体障害者福祉協会  
 編集人 沖縄県那覇市首里石嶺町四―三七三―  
 ボランティア小規模団体室・沖縄脊髄損傷者連合会しやりん編集部 砂川昭人

購読料は会費に含む  
 【頒価二十円】

～おすすめスポット紹介～

☆美らSUNビーチ☆

駐車場は一般車両の台数も多く、また身障者用の駐車スペースも広めに確保されて駐車しやすかったです。海浜公園内も全てバリアフリーで動きやすかったです。所々少し坂になっている所もありますが、ゆるやかなので場所によっては少し手伝ってもらえば問題ないレベルだと思います。BBQスペース、身障者用トイレも申し分ありません。夏もいいですが、1人でも動きやすいので涼しい時期の散歩とかも気持ちいいかもしれないですね。(玉城)



**R.C.Y. Rehabilitation Clinic Yamaguchi** リハビリテーションクリニック **やまぐち**

〒900-0003 那覇市安謝 1-10-28 TEL 098-864-1100

安らぎ・癒し・元気を提供します。

診療スタッフ  
 院長 山口 健 リハビリテーション科専門医  
 副院長 山口 浩 整形外科専門医  
 リハビリテーション 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師

診療科目/リハビリテーション科・整形外科  
 ▶身体機能訓練  
 ▶身体能力訓練  
 ▶言語訓練  
 ▶摂食嚥下訓練  
 ▶認知訓練

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00～11:30	○	○	○	○	○	○
午後 2:00～ 6:00	○	○	○	○	○	○